

キンキいずしが初海外へ!!



台湾台中市の中友百貨店

キンキのいずしが、発売から四十年にして初めて海外で販売されることに。当社(株)中井英策商店の看板商品「キンキいずし」が、

4月末から台湾で初物産展 アジアでいずしが受入れられるか?

台中市の中友百貨店「日本物産展」に出店へ

当社が初めて出店する中友百貨店は、台湾の中部台

ビーフパイが最高金賞獲得



最高金賞を受賞した当社「大人のビーフパイ」



速報「全国ご当地お菓子コンテスト」

当社は奥洞爺牛を使ったパイ菓子「大人のビーフパイ」をエントリ、お陰様で最高金賞を獲得しました。当社は、2014年に開催された、このご当地みそ&醤油グランプリで、キンキを使った魚醤「きんきの露」が最高金賞を獲得、三年ぶり二度目の受賞となった。

当社(株)中井英策商店が製造販売するお菓子「大人のビーフパイ」が、先週三月七日(一〇日、千葉県幕張メッセで行われたFOD EX JAPAN会場で同時開催された「ご当地お菓子グランプリ」で最高金賞を受賞した。

この審査会は、世界中から集まった食品業界のプロ達が集まる世界的なイベントであるFOD EX JAPAN 2017会場内で同時開催されているイベントで、全国各地のご当地お菓子がエントリ、そのお菓子の見た目や味などを評価し、点数を累計して各賞を決めるもの。

開拓のために挑戦も必要」との判断から、出店に踏み切った。

物産展は、四月二十七日から五月十五日までの十九日間で、当社は主力のいずしの他、最近人気の魚醤「きんきの露」や、北海道産昆布で作った「昆布のぐいのみ」などを試食販売する予定だ。

この物産展について当社担当の鎌田専務は「全くの道の市場だからこそ、挑戦する価値がある。一人でも多くのいずしファンを獲得したい」と意気込んでいる。

中市内の大手百貨店で、昨年春に、同百貨店の社長はじめバイヤーなどが当社に訪れ試食会を催した経緯もあり、今回の出展要請を頂いての初出店となった。

当社としては、初の海外出店であり、北海道独自の発酵食品が台湾の国民に受け入れられるのか? 全くの未知数だが、「新たな販路

「きんきん新聞」第22号
2017年(平成29年)4月1日発行
発行:(株)中井英策商店
☎(0142)24-2934
メルアド:kinki@nakai-shop.com

中井英策商店とお客様を結ぶコミュニティ新聞

きんきん新聞



有珠山を背景にした噴火湾沿岸

原因不明の奇病発生

北海道産ホタテが大ピンチ

当社「炙りホタテいずし」も製造メド立たず

北海道産ホタテが大ピンチ！当社製品も製造メド立たず。

当社の地元、北海道噴火湾産のホタテが原因不明の病気が蔓延し、七割以上の貝が死滅するなど大きな被害を受けて、出荷がほぼ出来ないという大ピンチに見舞われている。

養殖ホタテの発祥の地と言われ、当社の人気商品「炙りホタテいずし」の原料貝の供給を受けている北海道豊浦町のあるホタテ漁師は「原因不明の病気でホタテ貝がほぼ全滅状態。今後

のめども立たない」と茫然自失。いままで、正に「踏んだり蹴ったり」の状態と言う。

「こんなことは今まで全く経験したことが無い。海の底の海水が汚れて、綺麗にならない限りは病気も不漁も解消されないのでは・・・」と語っている。

悪いことに、病気を免れたホタテ貝も例年に比べて著しく成長が遅く、貝柱の大きさが小さく、第二の看板商品として

品に成長していただけない当社としても大打撃となっている。

ある漁業関係者は「噴火湾に加えて、オホーツク産のホタテも数年前の爆弾低気圧の被害で不漁が続いている。道内産ホタテの回復のメドは全く立たない」と頭を抱えている。

公募締切まで一か月 目標の70%突破へ

北海道いずしファンド

当社(株)中井英策商店の今年から始まる新規事業「いずし食文化を守る会」運営の為の資金調達と、販路拡大を目的としたクラウドファンディング公募が、締め切りまで残り一か月を切った。

このファンディングは、当社の長年の懸案だった飯寿司食文化を若い世代に継承し、さらに全国、海外へとその販路を拡大して伝統食文化を守り抜くという趣旨でスタートする、新規事業の為の資金調達として始めた。

二月一日からスタートした公募は、二か月間で目標の七〇%近くまで金額が達し、四月末の締め切りまでにほぼ、目標金額に達する目途がついて来た。

当社ではこの公募で集めた資金を活用して、今年九月に予定している「いずし食文化を守る会」の立ち上げと運営資金に充てるほか、新しいいずし開発の原材料調達、さらにこれらのプロモーション資金に充てる。

当社及川社長は「百名を超える多くの投資家の皆様からご出資を頂いており、有難い限り、投資家の皆様のご期待に添えられる活動を始めたい」と語っている。

こんな新商品作ってます ①



当社製造・催事担当

吉田尚弘さん

苦勞して作った新製品に喜び

趣味と実益を兼ねて「風呂掃除」にはまっています。休日など、集中してするとスツキリします。将来の夢は何ですか？

大好きなビリヤードでプロ選手になりたいとずっと思っていました。今は仕事に集中しています。子供たちの幸せな寝顔を見ている時が一番幸せです。頑張っている時が彼らを幸せにするのが現実的な夢ですね。仕事をしたいと楽しいと感じるときはどんな時？

新商品を開発して、それが世に出る時が一番楽しいし、やりがいを感じます。また、催事などでお客様から「美味しかったよ」と言われた時などは、やっぱり嬉しいですね。

どんな会社になりたいですか？ 従業員やその家族、また購入して頂いているお客様など当社に属した全ての人が幸せに出来るようなそんなパワーを持った会社になりたいです。

頑張ってください！ 仕事を離れると目の奥にはいつも、小さな男の子の父親としての優しさが覗く吉田さんは、現在当社の中堅社員として製造現場や催事での売り場、いずしにパイ製造と大車輪の活躍です。物産展等の売り場でもお会いすることがありますので、これからは宜しくお願いします。

このシリーズは、当社(株)中井英策商店のスタッフの一人一人にインタビュー、タイトルのように、こんな私たちがキンキのいずしやパイ菓子などを作っています・・・ということをお伝えしたい思いからスタートします。

第一回目の登場は、今年で入社八年目を迎える男性社員吉田尚弘さん(35歳)です。

吉田さんの趣味は何ですか？

これと言った趣味は無いですが、将棋を打つのが好きですね。好きな歌手、ミュージシャンは誰ですか？

ローリン・ヒルやデフテック、バックストリートボーイズなどが好きです。

今、はまっていることがありませんか？

お邪魔します!! いずしファンのお宅訪問①



友人でもある本谷忠義様(57歳)をお訪ねしました。
当社製品はいつ頃からご愛顧頂いてますか?

及川社長の勧め、なかばゴリ押し(笑)で、「キンキのいずし」と言う美味しいいずしがあると聞き、十年ほど前になりますが、中井商店さんの会社に直接電話で注文したのがきっかけです。

最初に口にした時の感想をお聞かせ下さい。

それは美味しかったですよ。期待はしていましたが、期待通りで、直ぐに

です。キンキも珍しいですが、炙りホタテのいずしというのも本当に珍しいですよ。それだけでお客様にも喜んで貰えます。

本谷様は、札幌ご出身ですか?

元々は北海道浦河町出身です。父の仕事の関係で、小さい時に札幌に移住し、現在に至っています。私も仕事で、全国を色々と回りましたが、今は札幌に定住しています。

いずしの食文化を守りたいと勝手に思っているのですが。

実は、転勤で名古屋に六年間住んでいたことがあるのですが、そこでも

クセの無い美味しさがお歳暮にピッタリ

させて頂くかも???

最初のお得意先様は、札幌市内にお住いの会社員で、私の音楽を通じての

お歳暮などでお世話になっているお客様に贈らせて頂きました。皆さん大変喜んで頂けました。とにかく、クセの無い美味しさが、いずしのイメージが全く変わりましたね。

最近、炙りホタテいずしも沢山ご購入頂いておりますね。

キンキも美味しいですけど、ホタテは絶品ですよ。

いつも食べているあのホタテがあんな美味しいいずしになるなんて信じられない

「いずし」は、全く知られていなかったことを覚えていてます。逆に言えば、それだけ未知の市場があるということだと思えますし、微力ですがこれからは応援して行きますよ。

有難うございます。

ソフトな印象とは正反対で、ビジネスの話になるとエネルギーが豊富な一面をのぞかせる本谷様、さすが常に勤務先の会社でトップセールスを誇る営業マン。「中井商店さんの、いずしを全国に広める応援団員になりますよ」と結んでくれました。これからも宜しくお願い致します。



トップセールスの営業マンとして活躍中の、札幌在住本谷忠義様をお訪ねしました

東京都内飲食店で昆布ぐいのみ展開へ

東京都内酒販問屋とタイアップ



試飲会に参加した当社及川社長

当社「昆布のぐいのみ」が新酒試飲会でコラボへ。

昨年、相次いで全国放送のテレビで放送、紹介され一躍人気商品になった当社の「昆布のぐいのみ」が、このほど東京都内で行われた春の新酒試飲会会場でお酒の試飲

用に採用され、会場に訪れた東京都内の飲食店関係者から「面白いねえ」という声相次いだ。このイベントは、東京都内中心に首都圏で、飲食店専門に酒類を卸販売する大手問屋④河内屋(本社・東京都)が主催して開催したもので、東京都武蔵野市生地情事駅前のホールを会場に開催、全国各地の酒蔵が持ち寄った今年春自慢の新酒が、都内の飲食店関係者に振る舞われた。

その会場の一角を借りて出展したのが当社の「昆布のぐいのみ」で、新酒の熱燗をぐいのみに入れて試飲が行われた。試飲した飲食店関係者は一同に「面白いねえ」「是非前向きに採用を検討したい」と好反応を頂き、新たな販路拡大に大きな期待が持てるイベントとなった。

次号の「きんきん新聞」第23号は、6月1日発行予定です。新連載コーナーや新製品情報など、次号も盛り沢山の内容です。

お楽しみにニヤ!!





中井英策商店社長の及川昌弘であ



若き日の私のイメージ

ポップン、フォーク喫茶 青春の溜まり場でした

社長の独り言 ■ 青春時代に熱中したこと!?

音楽に魅せられた挙句、バンド活動とアルバイトに明け暮れた学生生活を送ってしまった私ですが、最初はビートルズやオフコース、チューリップなどのコピーをして喜んでいたのですが、やがて「自分たちでオリジナル曲を作ろう」ということになり、オリジナルの曲を作詞作曲してバンドで演奏することになりました。そんな私、中井英策商店社長の及川昌弘の青春時代の思い出を今月もお伝えします。

さて、ライブハウスや当時のフォーク喫茶などで演奏して歌っている機会も増えました。当時の札幌には、この種のお店が数多く営業しており、キター一本で店に乗り込み、ゲリラライブ的な演奏をするアマチュアも多くいましたね。

中でも「うたごえ」や「あいさる」などには良く通いましたね。

さて、そんな中、フョット腕試しではないですが、アマチュア音楽のコンテストに出ようということになり、「ポップン」や「アマチュアフォークコンテスト」にも出場しました。結果は、残念ながら予選落ち……。それでも、良い思い出が出来ました。当時で印象的だったのは、安全地帯と松山千春さんですね。特に、安全地帯の音楽レベルは群を抜いていました。ミストーン(いわゆる演奏ミス)が殆ど無い完璧な演奏は、本当に上手かったですね。デビューしてメジャーになって行くのは、極当然のような雰囲気がありました。

私はその後、コツコツとオリジナル曲を書き溜めていましたが、特に発表ある場面も無く、大学卒業、就職と同時に音楽への熱は少しお冷めて行ったのです。

そんな青春時代、音楽漬けになるほど夢中になった音楽の扉を開いたのが、私が中学校時代に夢中になった当時の洋楽が原点です。当時は、洋楽全盛時

熱狂音楽きっかけは洋楽全盛時代

代で、シヨッキングブルー、ドーン、CCR、シカゴ、などなど……。数え上げるときが無いほどです。夕方になると、ラジオから流れるSTVラジオ「ダイヤル119エスト」に電話をかけ、自分の名前をラジオで読んでもらえるだけで大喜びしていたあの時代でした。

当時は懐かしんで、私が独断で勝手に選んだ「1970～72年」3年間の洋楽ベスト25を表記してみました。懐かしいと思われる方は、私と間違いないく同年代でしょう。なお、このランキングの中にビートルズは含まれてませんが、ビートルズは別格だからなのです。今回は、私の中の「ビートルズベスト25曲」を発表する予定です。お楽しみに。

及川社長が勝手に選んだ

1970～72年

私がハマった洋楽ランキング

順位	曲名	アーティスト名
1	ミスターマンデー	オリジナルキャスト
2	涙のハブニング	エジソンライトハウス
3	孤独の夜明け	マジックランタン
4	悲しき鉄道員	シヨッキングブルー
5	恋のかけひき	パム・ジョー・ファンク&レイノズ
6	シルバームーン	マイケル・スミス&ファースト・ストロボバンド
7	イエスイッツミー	エルトンジョン
8	ノックは3回	ドーン
9	魔法	ルー・クリスティ
10	ウイザウトユー	ニルソン
11	悲しみの兵士	シルヴィ・バルタン
12	オールドファッションドラブソング	スリドッグナイト
13	雨を見たかい	CCR
14	愛の願い	ミッシェル・ボルナレフ
15	シーズアレディ	トム・ジョーンズ
16	青い影	プロコル・ハレム
17	スーパースター	カーペンターズ
18	トレイン	1910フルーツガムカンパニー
19	ローズガーデン	リン・アンダーソン
20	マンダム男の世界	ジュリー・ウオレス
21	恋は二人のハーモニー	グラスルーツ
22	長い夜	シカゴ
23	イット・ブレイト	キャロルキング
24	アメリカンバンド	グラノボファンク・レイノド
25	西暦2525年	セーガーとエバンス

「いずし食文化」を守る活動にご支援、ご協力お願いします!!

お得意先各位殿
前略 日頃は当社並びに当社製品をご愛顧頂き、誠に有難うございます。
このほど、当社(株)中井英策商店では、永年の懸案でありました「いずし食文化」を次世代へ継承し、さらに北海道から日本全国へ、そして海外へ、この優れた北海道の郷土料理を広めたいとの思いから、悲願でもありました任意団体「いずし食文化を守る会」(仮称)を設立し、活動を開始すべく準備を進めております。

その一環として、今月二月からインターネット上で事業の活動資金を募集する「クラウドファンディング」の出資公募を開始致しました。
つきましては、当社のこの思いにご理解を頂き、何卒この任意団体の立ち上げと運営にご支援を賜りたく、この「北海道いずしファンド」へのご出資、ご協力をお願い申し上げます。

なお、このファンド「北海道いずしファンド」でお預かりしました資金は、この団体の活動及び、そのプロジェクト資金として使わせて頂き、「いずし」という北海道が世界に誇る素晴らしい発酵食品の魅力をお伝えし、多くの人に知っていただき、そして多くの方に食べていただくことを目指しております。

どうか、お得意先様におかれましては、この活動趣旨にご理解を頂き、出資のご検討、さらには「いずし食文化を守る会」の活動へのご協力を、伏ししてお願ひ申し上げます。
平成二十九年四月一日

「いずし食文化を守る会」事務局
(株)中井英策商店
代表取締役 及川昌弘

【北海道いずしファンド】の詳細は、ファンド取扱い社「ミュージックセキュリティーズ」の公式ウェブサイトをご覧ください